

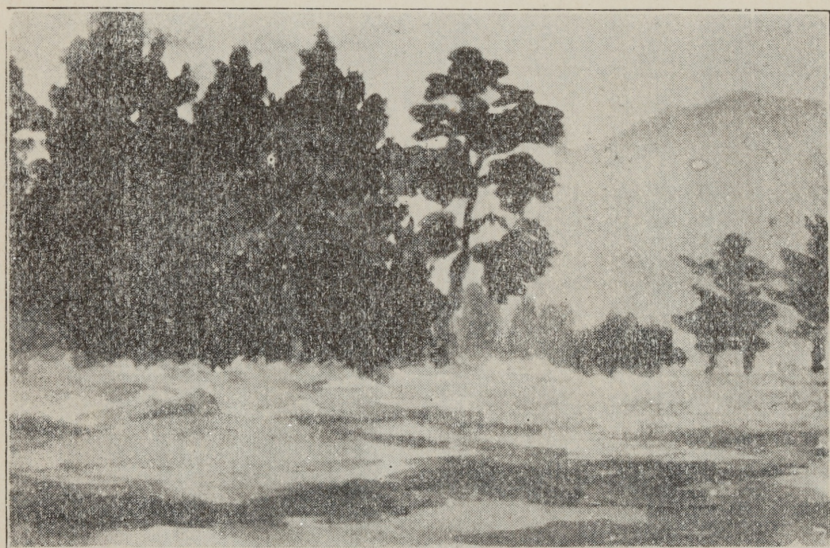
籠の五ツ六ツ並んだ奥深い森に赤い鳥居がちら／＼見える處が面白かつたので、寫生にかゝつた。こゝも一時間許で。

昨日の曇りに引換えて今日は空風の大路に砂を上げて、満足に眼を明いては徒歩けない程である。これでは寫生には何とも致方がない。一時間餘を奈良停車場に列車待つ間に鉛筆を走らせて。(完)

弱 虫

S M 生

ある地方の中學卒業生、職を地方裁判所に得書記の役を拜命せり。後數日、管内に殺人犯あり、豫審判事に伴はれて兇行現場に出張す、死屍累々詳さに慘狀を極む、判事新書記に命じて形狀位置等を實寫せしむ、新書記在校當時圖畫を蔑視して、少しも勉強せざりしかば、因果は觀面如何に筆を下すべきやを知らず、さればとて職業柄其儘にもなりがたく、不得止曲りなりに圖取りを了れり。さて裁判所に歸り來れば、同僚待受居りて情況をきき、見取圖を開くに其線は慄へ形は亂れ殆ど圖を成さず、一生嘲つて曰く、『この新參書記初めての臨檢に死體を見て恐怖し、筆は紙にづかざりし



筆 助 之 誠 林 小

ならん、何等の醜態ぞ！、何等の懦夫ぞ！』と、新書記其畫學に拙なるを愬へて辯解大に勉めしも聽かれず、終に役所に於ては常に弱虫の尊稱を蒙るに至れり。茲に於て新書記大に憤慨し、更に初めより繪畫を學んで自由に實寫し得るの技術を養ひ、彼等同輩を驚かし呉れんものゝと、先の中學圖畫教師の下に走り、頻りに鉛筆畫の稽古を初めたりといふ。(實話)

蛇の棲處

多くは裏白即ちシダ 又は隈笹の茂つてある處に棲む 木の洞の腐つた柔らかな處にも居る

抵抗性

赤いものを見ると蛇は飛掛つて來る 赤毛布緋の蹴出しなど大禁物 殊に婦人達は注意されたい 蛇は一寸でも觸ると飛び蒐かゝつて來るから なるべく驚ろかさぬやうにするに限る (趣味)

* * * * *